

麦草岳 ～その先の牙岩まで

2015 年 12 月 27 日（日）～29 日（火）

メンバー：松野

今年の正月山行はみんなと日程が合わず、単独で麦草岳とその先の牙岩まで行ってきました。計画書提出時には欲張って「木曽駒ヶ岳も行けたら行きたい」などと言っていましたが無理でした。

【1 日目】雪のち晴れ 行程：木曽駒高原スキー場～福島 B コース～7 合目避難小屋

早朝浜松発、木曽駒高原スキー場に車を止め、福島 B コースへ入ります。トレースがあり順調に進むことができました。今日は 7 合目避難小屋に泊まります。この日は積雪 50cm ほどで、小屋正面入口から入れましたが、雪に埋もれている場合は裏側の高窓から入るようです。



小屋の落書き帳から、私の到着より約 1 時間前に、大学生 4 人パーティーが小屋に立ち寄ったことが分かりました。彼らも麦草岳から牙岩方向に行く予定のようです。

〈コースタイム〉

8：20 木曽駒高原スキー場

9：20 幸ノ川渡渉地点

13：15 7 合目避難小屋

14：00 麦草岳方向 下見（途中まで）

14：15 7 合目避難小屋

【2日目】快晴 行程：7合目避難小屋～麦草岳～牙岩～往路戻る～7合目避難小屋

まずは麦草岳を目指します。ピストンの予定なので幕営装備は置いていきます。月明かりのなか、御岳、乗鞍、槍穂まで見渡せます。昨日の大学生パーティーのトレースが付いていました。



麦草岳山頂より、左奥が木曽駒ヶ岳、その右が木曽前岳、その手前に牙岩。



(写真は帰路に撮ったもの)

麦草岳山頂は細長く、奥のピークから巻き降りて牙岩方向へ向かいます。しばらく行った狭いコルに大学生パーティーのテント場跡があり、その先を彼らが歩いているのが見えました。雪稜と岩稜が続きます。

錆びた鎖のあるルンゼ



このルンゼを登ったあと、なんと大学生パーティーのトレースが尾根を外れて左の谷へまっすぐ降りていました!?　なんでここで尾根を捨てるんだろう?　大きく巻くつもりだろうか?　ここで私のラッセル泥棒山行も終わり、この先は尾根通しに自力で行くことになりました。彼らがいなかったらここまでももっと時間がかかっていたでしょう。

牙岩が近づいてきました。うさぎの足跡があります。



牙岩取り付きの木のハシゴを登ると、牙が2本あることが分かりました。



1本目の牙の直前にナイフリッジ。ここにもうさぎの足跡が・・・。



ナイフリッジは5m程度ですが、ロープを出してその先の雪壁も合わせて登りました。1本目と2本目の牙の間に出たところでロープを回収しようと引っ張ったら、引っかかって回収できません・・・。(帰りに見たら、雪に隠れて見えなかったハシゴの針金に引っかかっていました。)

ここで、気力・体力・時間を総合的に判断して、引っかかったロープを外しに戻って時間を費やすより、余ったロープを使えるだけ使って、2本目の牙に登ってみることにしました。

でもあと少しロープが足りません…。



手持ちのスリング類をすべてつなぎ合わせて、なんとか牙のてっぺんによじ登りました。木曽前岳は遠いような近いような。ラッセル次第でしょうか。学生さんたちはどこへ…。



ここで引き返すことにしました。そもそも 7 合目避難小屋から木曽駒ヶ岳ピストンなど私には無謀だったことが分かりました。初日の幕営地を上げるか、幕営装備を背負って玉ノ窪に抜ける計画

でないと難しそうです。帰りは懸垂2回交えて牙岩を降りました。

帰路、麦草岳に戻る尾根。麦草直下の雪に埋もれたハイマツ登りがこたえました。



今日もう1泊、小屋でひとり淋しく過ごします。なんだかお酒もすすみません。



〈コースタイム〉

5:40 7合目避難小屋

7:15 麦草岳山頂

9:20 牙岩取り付き

11:15 牙岩2本目（ここで引き返し）

12:15 牙岩取り付き

14:35 麦草岳山頂

15 : 25 7 合目避難小屋

【3 日目】雪のち晴れ 行程 : 7 合目避難小屋～福島 B コース～木曽駒高原スキー場

今日は樹林帯を下山するだけです。木曽駒高原スキー場に着いて振り返ると、麦草岳と夏に遡行した幸ノ川、山頂近くの駒石も見えました。



〈コースタイム〉

5 : 40 7 合目避難小屋

8 : 00 木曽駒高原スキー場